



発行：社会福祉法人 心聖会
 広報委員会
 発行責任者：吉村 優児
 URL <http://www.e-shinseikai.or.jp/>

(法人事務局)
 〒276-0001
 千葉県八千代市小池393
 TEL 047(488)8222 FAX 047(488)8229

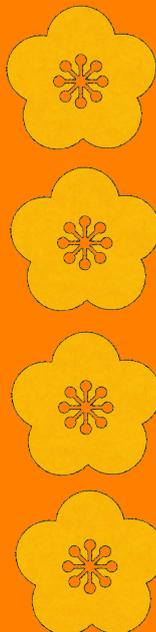
経営理念

わたしたちは、利用者の幸せ、利用者の家族の幸せ、地域住民の幸せ、そして、これらを支えることを職員の幸せとして事業に取り組みます。

- ・障害のある人の人格と個性を尊重します。
- ・障害のある人が安心して豊かな地域生活を営めるよう支援します。
- ・障害のある人の喜びや悲しみを共感できる職員であることに努めます。



謹賀新年



社会福祉法人心聖会 理事長
 白鳥 征四朗

新年のご挨拶

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。平素より社会福祉法人心聖会に対しまして、格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、入所施設の存在意義が取り沙汰されて久しくなりますが、2022年9月の、国連障害者権利委員会からの日本政府への勧告は、障害福祉の分野を問わず、非常に根深いものでした。[Nothing about us, without us] (わたしたち抜きに私たちのことを決めないで)は、国内において、障害者権利条約(2014年批准)を策定する際に用いたスローガンであります。批准から10年の時が経つ今日、入所施設に向けた課題項目に関連つけた施策等にも注視し、ご利用者の方お一人おひとりの人権を尊重した運営に寄与してまいります。

本年に計画している整備事業につきましてご報告いたします。今後も地球温暖化が進み自然災害リスクが高まることに備え、小池更生園にはすでに設置完了済みの非常用自家発電機を作山更生園にも1月中に着工し設置いたします。またご利用者の高齢化に伴い作山更生園には設置済みの、エレベーターの設置を小池更生園においても検討をしているところでございます。ご利用者の皆様が安心して暮らせますよう今後も多角的に整備してまいります。

新年の抱負 未来を担う職員たち



小池更生園 支援員
藤田 ゆりか

謹んで新春のお慶びを申し上げます。新年を迎えるにあたり、日頃より度重なるご支援賜りまして、改めて御礼申し上げます。昨年、改めて御礼申し上げます。昨年は、数年ぶりに法人全体での秋イベントが開催された年となりました。イベント担当として右往左往しながらも、同僚や上司の協力もあり、多くのご利用者のご家族の皆様喜んでいただくことができました。私自身も達成感を得ることができました。11月には一泊旅行にも参加するなど、昨年は初めての経験が多い年になりました。入職して4年目になりますが、まだまだ知らない事がたくさんあります。そこで、ご利用者の気持ちに寄り添って支援できるように、上司や周りの職員に感謝をしながらチームワーク力を高め、上向きな姿勢で新年の抱負とさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。



作山更生園 支援員
高野 愛咲美

明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

新年を迎え、私がより一層大切にしていきたいことは、「ご利用者の生活に彩りを添えること」です。例えば昨年は、「新型コロナウイルスが第5類へ移行となったこと、より外出の機会を増やすことができました。さらに、私の所属する「ひまわり班」では、毎月テーマを設けて季節や園内行事に合わせた作品作りをご利用者と職員と一緒に取り組んでいます。季節の移り変わりを体感し、また活動場所の飾りつけを行うことで、室内でも明るい気持ちで過ごせるような空間づくりを目指しています。このように、日々の生活の中にリフレッシュの時間を設けたり、ご利用者の皆様の生活がより一層彩りのあるものとなるようお手伝いしていきたいと思っております。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

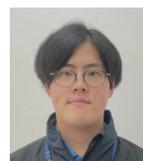


こいけ障害者
支援センター
支援員 齋藤 遼平

新年あけましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

私の今年の抱負は、ご利用者の生活をより良いものにすることです。ご利用者一人ひとりを思いやりながら、喜びや悲しみと共に感じ、そして心情に寄り添うことで、ご利用者とのつながりを丁寧に構築していきます。また、チームワークの面でも、ご利用者にとって最善の支援を提供できるように、気付いたことや工夫してみたいことを発信し、チーム職員の多様な意見を取り入れながら尽力してまいります。

ご利用者一人ひとりが楽しく作業に参加することに加え、好きな場所への外出や、美味しいものを食べる等、様々な経験を通して、より豊かな生活を送っていただけるように、私自身も学びを深めていき、感謝と喜びの中で働くことを目指します。本年もご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



こいけホーム
支援員 吉田 一稀

新年あけましておめでとうございます。私の今年の抱負は「今までできなかったことに積極的にチャレンジする」です。

私は令和2年に心聖会へ入職しましたが、それからの約4年間はコロナウイルスと日々向き合いながらの支援が求められました。少しずつ自粛や制限が緩和された現在では、それまで行われてきた様々なイベントや行事が再開されつつあります。昨年は八千代市手をつなぐ親の会主催のポッチャ大会に、こいけホームのご利用者と共に参加しました。ご利用者の新たな姿を垣間見ることができたり、他施設の方々と交流する機会にもなったりと、大変貴重な経験になりました。そこで今年、今までできなかった様々な行事やイベントに、積極的にチャレンジしたいと思っています。

入職した時から自分の中で掲げている「ご利用者の笑顔を増やす」を胸に、新年の抱負を達成すべく、今年も真面目・謙虚に努めて参ります。

小池更生園 便り

一泊旅行に行ってきました！

小池更生園 支援員
伊藤 聡真

11月12日と13日に一泊旅行を実施しました。

今回の目的地は、ホテル三日月安房鴨川です。新型コロナウイルスの影響もあって、久しぶりの宿泊を伴う旅行となりました。幸運にも2日間ともに晴天に恵まれたため、青空の下で、皆様ご旅行を楽しまれている様子を見ることができました。

今回の旅行の目玉のひとつは、やはりホテルでの夕食です。宴会場のテーブルにずらりと並んでいたのは、豪華な海鮮料理や天ぷらなど、ボリューム感のある料理の数々。ご利用者の皆様も、職員に笑顔を見せながら、ゆっくりとお食事を楽しまれていました。また、宴会場にはカラオケも用意されており、お食事のあとにはマイクを握って、自慢の歌声を披露するご利用者の姿も見ることができました。お食事だけではなく、温泉を

ゆっくり楽しむことができた点も、今回の旅行の特長のひとつです。大浴場の大きなお風呂やオーシャンビューの露天風呂でのんびりと湯に浸かることで、ご利用者の皆様も、日頃の疲れをじっくりと癒すことができた様子でした。

さらに、今回はゆとりをもったスケジュールを組んだことで、ビーチ散策やお土産購入の時間を充分にご用意することができました。帰園後、多くのご利用者様から「楽しかった！」「またいきたい！」「次の外出はいつ？」といった声を聞くことができるなど、参加者の皆様は非常に満足いただけただけの様子でした。

来年も、ご利用者の皆様に楽しんで頂けるような旅行を企画したいと考えています。



大盛況！年末イベント

小池更生園 支援員
田村 直毅

12月14日、「こいけ冬の食事会」と題した年末イベントを開催しました。当日はお招きしたご家族とともに、ご利用者の皆様にはお食事とイベントを楽しんで頂きました。

「揚げ物弁当」「ハンバーグ弁当」の3種をご用意した昼食では、皆様の箸も進んでいらっやいました。メインイベントのひとつ「お菓子のつかみ取り」では、ご利用者のわくわくした表情を見ることができました。初めてハンドベルによる演奏を行いました。

音楽クラブの発表では、メンバーであるご利用者が練習の成果を発揮するとともに、観客席では一緒に踊りながら演奏を楽しまれるご利用者も見受けられるなど、大盛況となりました。

今後もご利用者に楽しんでいただけるイベントを開催してまいります。



広島大会研修報告

小池更生園 支援員
原子 仁志

12月19日・20日の二日間、広島県広島市で行われた「令和6年度 第12回 障害者支援施設部会全国大会 中国地区 広島大会」に参加して参りました。

今回の研修では「意思決定支援の重要性」と「施設入所支援員として何が重要か」の2点を学びました。

障害を持った方々が日々落ち着いた暮らしを営むためには、意思決定支援によってご本人が望む暮らしの環境を構築し、その後の暮らしの安定性をも同時に考えていくことが重要となります。それに加え、施設入所支援に携わる私たちには、障害特性に応じて、支援を必要とする方々の住まいやお仕事の場を守るという大切な役割もあります。

今後は、ご利用者の暮らしの安定を図るためにも、「清掃」といった環境整備や、「チームによる支援」の重要性を再認識し、男性棟リーダーとして、今回の研修で得た知識を活用して参ります。

作山更生園便り

お楽しみ会のご報告

令和6年12月7日、作山更生園ではご家族をご招待しての『年末お楽しみ会』を開催いたしました。『年末お楽しみ会』とは、一年の締めくくりとしてご利用者の皆様とそこご家族の方に、楽しい時間を過ごしていただきたいという願いが込められたイベントです。

今年度は『手作りリース』や『ハズレなし！ビンゴ大会』といった催しを交えながら、お食事と交流を楽しんでいただくことと企画しました。『手作りリース』ではご利用者とご家族が一緒になって、楽しみながらリースづくりをすることができました。昼食では、ピザとオードブル



一緒に思い出になるリース作成！



笑顔で全員集合です♪

をバイキングのようにして提供しました。ご家族・ご利用者ともに、お食事を楽しそうに召し上がっていました。職員主催の『ハズレなし！ビンゴ大会』では、名司会により会場は大盛り上がりとなりました。ドキドキしながら自分がビンゴになるのを待つご利用者の皆様。嬉しそうに景品を受け取るお姿が印象的でした。最後は、玄関前に全員集合して、記念写真を撮影しました。

お寒い中、足を運んでくださったご家族の皆様、全力で楽しんで下さったご利用者の皆様のおかげで『年末お楽しみ会』は大成功を収めることが出来、私たち職員も大変うれしい気持ちでいっぱいです。来年度も、より楽しいイベントを企画できるよう、職員一同努めてまいります。

バザー活動のご報告

毎月、第一日曜日に八千代市役所駐車場にて行われている「八千代・遊・友バザール」に出店しています。（雨天中止）

ご利用者の皆様が製作したハーバリウムや手芸作品等を販売することで、その販売収益を使用した外出やお食事を開催することにもつながるため、ご利用者の皆様も、いつも目標を持って積極的に参加されています。

バザー当日は、ご利用者自身で準備から販売、接客まで行うことで、地域の方々との交流を深める機会にもなりました。「これ楽しいね！」「もっとやりたい」という言葉も聞こえるほど、ご利用者の皆様は、やりがいや喜びとともに毎月頑張っています。ぜひ、八千代・遊・友バザールへお越しください！



販売風景、緑のテントが目印！

スポーツ活動のご報告

10月3日、千葉市青葉の森スポーツプラザで行われた「第31回千葉県障害者フライングディスク選手権大会」に、作山更生園からご利用者6名が参加しました。

フライングディスク競技は、スペシャルオリンピックスの理念をずっと受け継ぎ、参加した人全員を組ごとに表彰する、参加型のスポーツです。

障害の有無を問わず、誰もが簡単に楽しめるため、競技に参加された皆様も、投げたディスクがきれいにまっすぐ飛んだ時には、とても気持ちよさそうに笑顔を見せていました。競技を終えて、ゲットした賞状とタオルを手にした帰りの車内では今日のことを笑顔で話されていて、充実感を得た一日となりました。



お見事な一投です♪

こいけ障害者
支援センター便り

心の花

株式会社サンワックスさんからお声を掛けていただき、八千代緑が丘駅近くにあるスポーツの杜公園の花壇に花を植える、植栽体験に参加しました。



サンワックスさんは公園の管理を通して、障害を持った方の社会参加に向け、その後押しができるよう、福祉施設への橋渡し役もされています。今回、花壇に植えたパンジーは「はばたき職業センター」から苗を購入されています。地域の福祉施設



とつながりを持ち、障害の有無に関係なく活躍の場を提供していくなど、私たちが見習うべきことが沢山あります。「こういう体験っていいよね」と、パンジーを植えながら笑顔で話すご利用者を見て、地域とのつながりや社会参加の機会は、その人自身の喜びや強みに繋がることを再認識しました。植え方など優しくご教授してくださったサンワックスの佐藤さんは「植えた後、水やりをすることが大切です」と最後に話していました。花を育てるように、ご利用者が社会の中で活躍できる環境を継続的に提供し続けることが、福祉の場で働く私たちに求められているのだと実感しました。

こいけホーム便り

皆仲良く忘年会

年の瀬迫る12月29日、2024年最後の日曜日に、こいけホーム忘年会を開催しました。インフルエンザが全国的に流行という状況もあり、どうなることやらと少し心配していましたが、年内最後のイベントを無事に開催出来たのは、こいけホームの皆様的情熱ゆえ、といったところでしょうか。



ケーキと海鮮丼で忘年会♪

プレゼントもあるよ!

正午が近付くと「まだかなー」と、いそいそと数名のご利用者が園庭に出ます。待ちわびているのは、海鮮丼とケーキ(を受け取りに出掛けた職員の車)で

す。車が見えると「あ！来た来た、待ってたよー！」と拍手と笑顔でお出迎え、職員もなんだか嬉しくなってしまう。ストリートに喜びを表現して頂けるのも、支援員としての醍醐味です。食事の準備が整うと、代表者による「これから忘年会を始めます！」という開会宣言を経て、イベントがスタート。今年の思い出をゆっくりと振り返り、語り合いながら、和やかな時間を過ごしました。じゃんけん大会では、勝った方からお好きな番号を選んで頂き、プレゼントと交換。何が当たったかは、手元で包装紙を開いてからの楽しみです。ご利用者から「来年も良い年になると良いな」という声を聞くことが出来て、職員も思わず笑顔になってしまふ、そんな忘年会になりました。



来年も良い年になりますように!

法人だより

「まごころこめて...」
バザー作品のご紹介

小池更生園

小池更生園では、ご利用者と共に作った様々なものを販売しております。ステッカー・缶バッジ・ポストカードは、ご利用者がイラストの作成から、検品・缶バッジへの加工・袋詰め等を中心を込めておこなっています。動物や食べ物イラストを使用したものや季節感のあるイラストを使用した期間限定の商品もあります。

小池みそは、地元、八千代市産の米と野田市産の大豆を使用した手作りの無添加みそとなっております。少辛みそ、赤みそ、甘みそがあり万人受けする白みそ、赤みそを2年以上寝かせた一番辛みのある熟成みそ、熟成みそと白みそをあわせ合わせた合わせみその4種類をご用意しています。ピッコロスターニョコーヒーは、自家焙煎のドリップコーヒーです。ピッコロスターニョとは、

イタリア語で小さい池という意味で八千代市小池の地名にちなんで名づけました。焙煎、豆挽き、密封等の作業工程を、ご利用者とともに、ひとつひとつ手作業で行っています。ぜひ一度、お試しください。



▲てづくりのシール(上)と缶バッジ(下)



▲小池みそ(上)とピッコロスターニョコーヒーのロゴアート(下)

こいけ障害者支援センター

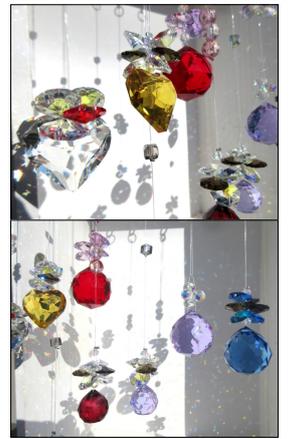
支援センターでは「楽しく、目的のある時間を過ごす」ことと「地域交流のきっかけ」になればという思いのもと、丁寧に心を込めながら、ひとつひとつ手作業でバザー作品を製作しています。

作山更生園

作山更生園のハンドメイド作品には、どんなものがあるのか皆さんで存知でしょうか？実は、レジンアートのアクセサリーやアクリルたわし、ハーバリウムボールペン、トートバックなどなど：4つある作業班それぞれ個性を活かした作品が揃っています。ぜひ一度、お手に取ってみてくださいね。



▲ポタニカルランタンとポタニカルキャンドル



▲色とりどりのサンキャッチャー



▲各作業班にて、ご利用者の個性を活かした作品を製作しています。

編集後記

みなさまのお手元に本紙が届くのは、2025年という響きにもそろそろ慣れてきた頃でしょうか。というのも、編集後記執筆の私はまだ、2024年にいるからです。ソワソワするよいうなワクワクするような、年末年始の何とも落ち着かないこの時期が、私の一番好きな季節です。四季の中で冬が一番好き、と言うと、だいたい驚かれます。雪が好き、積もるともっと嬉しいと言うと、更に驚かれます。寒ければ寒いほどシャキッとした気分になり、すっと背筋が伸びる気がしませんか？実際に伸びているのはカイロを求める手、ではあります。さて、始まったばかりの2025年も暦の上ではまもなく立春、春を迎えようとしています。立春は二十四節季の一つですが、おなじみなのは節分という言い方ですよ。節分とはそもそも季節の分かれ目のことで、立春・立夏・立秋・立冬それぞれの前日を指し、一年に4回あるそうです。節目を大切にしながら、ご利用者、ご家族、職員に多くの喜びがある一年となりますように。